

学校法人永井学園 奈良コンピュータ専門学校



奈良コンピュータ専門学校様で先生・留学生にお話を伺ってきました！



コロナ禍における状況について

入学式が中止になる。また帰国し戻ってこれない学生に対しては休学対応とし復学できるように計らっておられるそうです。幸い一時帰国した学生は少なかったとのこと。オンラインでの授業に対応せざるを得ない状況で Google フォームを活用したテストなど今までにない方法で学校としても悪戦苦闘。6 月からは分散登校を実施し、途中から登校再開。できることを試行錯誤でせざるを得ない状況にもしっかりと対応してきたことで登校再開につながったとの事です。

就職活動について

留学生が内定をゲットするためには、日本式の就活のやり方や、日本企業や日本人の働き方を理解するところから始まると考えています。就活を受け身で考えるのではなく、自分から積極的に参加できる学生から内定を勝ち取ることができます。それにはやはり3年かかります。本校は3年制ですので、時間を有効に使うことができます。今年はコロナで就活のスタートが遅れ、合同企業説明会も軒並み中止またはオンライン開催となり、学生もとても不安に感じていたと思います。そのおかげか、例年より積極的に就活に参加する学生が増え、しっかり企業研究してから面接に臨むようになりました。しかし、求人数が減っているのは事実で、昨年よりも日本語力を重要視される企業様が増えたように思えます。コロナで仕事を失った日本人の応募者と同じ土俵に立たなければならなくなったからです。来年度は外国人人材の魅力をアピールできる場が増えたら嬉しいです。

コロナ禍で学校が心配していること。

→情報が来ない、届かない。学生への救済措置など正しい情報が届かない。学生内グループや SNS 経由で学生がつかんだ情報を後から知ることも。情報源がわからず学校としての対応が難しく情報をたどり、正しい情報なのか判断するしかない。

こんなことがありました！！

→お米を2kg市役所でもらったと学生から先生に連絡が入る。これは中小企業向けの貸付相談をすればお米をもらえるというイベントであった。先生が調べたことで、大家さんの親切心で学生を連れて行ってくださったとわかったそうです。ここから見ても、学生は「良い話」には乗ってしまう傾向にあると。特に損得勘定で動いてしまう学生も多いとのこと。この隙間に入り込んで学生をそそのかすブローカーの存在も否定はできないとのこと。

日本に来た理由を聞いてみました



ベトナム出身
タイ君

アニメが日本語を勉強するきっかけに。機械工学を学んでいたので設計の仕事をしたい。



ベトナム出身
マイさん

日本での生活体験をしたいということから留学。家族のために働きたい。



ベトナム出身
バオ君

先輩や友人に日系企業が人気であり日本の会社で就職し PC スキルを学びたい。



ベトナム出身
リンさん

ベトナムの看護師の学校へ通っていたが周りの友達の声聞いて日本に興味をもって留学を決意。



ネパール出身
サシデッシュ君

日本に住みながら働きたい。ネパールではチャンスが100%あるわけではなく日本で学びチャンスをつかみたい。



イシャーラ君
スリランカ出身

自動車が好きで自動車学校を考えていたが事故で面接を受けられず、先生の紹介で入学。新しい目標に向かって頑張っている。

母国と日本の異性の違いについて聞いてみました！留学生からはこう見えているんですね！面白いです。

- ・日本の女性は意識が高い
- ・日本の女性はお酒を飲み、タバコも吸う
- *ベトナムでは悪いイメージ
- ・女性でも一人暮らしをしている
- ・日本人は助け合い、優しい
- ・ベトナム人男性は家事をするが日本人はしないイメージ
- ・日本人は固い人が多い
- ・日本人は感情が薄い
- ・日本の女性は怖い、いじわる、細かい部分がある
- ・高校生でもアルバイトをしているがベトナムの高校生は子供みたい



留学生の皆さんは CAD の授業が楽しいと感じておられるようです。HTML や PHP などプログラムの基本も学ばれています。志を持って真面目な学生たちだと感じました。彼らの活躍を期待し応援していきたいですね。先生のお話に合った特定技能に関してですが、今後の施策がどのようになるのか気になります。学校としても今後は必要な在留資格になると考えておられますが、現状では技術・人文知識・国際業務で勤められ状況を見て特定技能にも取り組まれるそうです。これからも私たちがリアルな声をお届けしてまいりたいと思います。

ABC プラットフォームの人材育成活用部会における取材チームで、学校や企業様のインタビューを行っています。今まではエール学園の卒業生を中心にインタビューを実施してきました。これからは様々な学校様や企業様を訪問し、それぞれの取り組みやこれからこういった展開をしていくのか。皆様の知りたい情報を発信していきたいです。

ABC プラットフォーム 広報室 取材チーム



左) 株式会社ジャパネックス・インターナショナル 辻社長
右) 株式会社二加屋 人財サービス事業部 西野部長